

夢つむぐ島

一島人みんなで織り上げる未来



施策42 島を訪れる、島に帰る人たちへ▶交流人口・移住定住人口の増大

交流文化の推進



今回のテーマは、「島を訪れる、島に帰る人たちへ」～交流文化の推進～についてお伝えします。

現状と課題

技術交流等

- ◆ハワイ郡コナと姉妹島を締結しており、海洋深層水を活用した相互の研究交流事業を行っています。
- ◆産業分野では、アジア諸国の外国人技能実習生の受け入れを行っています。

交流イベント

- ◆久米島まつりや久米島マラソンなどのイベントは、島民の交流のみならず、久米島出身者や久米島ファンが交流する本町の一大イベントとなっています。
- ◆子どもから高齢者まで多くの町民が参加できる祭りを開催することで町民の融和と連携に取り組んでいます。

- ◆全国各地において、久米島出身者やファンが集う郷友会、コミュニティが生まれており、定期的な集会やイベントが催されています。
- ◆平成28年から「世界の久米島ンチュ大会」を開催しており、継続して開催することを予定します。
- ◆平成21年から久米島町婦人会が主体となって、久米島と島外の人を結ぶ取り組みとして、久米島ファンクラブが立ち上げられました。ファンクラブ会員は特別住民票の発行や島内施設を島民料金で利用できます。
- ◆新潟県十日町市と小学生同士の「なかさと交流」を行っています。
- ◆佐賀県佐賀市と中学生同士の「佐賀交流」を行っています。

施策の展開

技術交流等事業の拡充

- ◆海洋深層水事業は、交流研究を促進するとともに、官民学が連携した産業展開及び技術研究・開発を推進します。
- ◆大学や研究機関と連携し、久米島での技術研究及び開発に資する施設の導入・誘致に関する可能性調査を検討します。
- ◆関係団体と連携を図り、外国人技能実習生の受け入れ先を増やしながら円滑な事業実施を図ります。
- ◆地域特性を活かした産業と人材の育成につながる技術交流を推進します。

交流人口の拡大

- ◆交流機会の創出に資するイベントの継続的な開催を推進します。
- ◆久米島出身者ネットワークを活かした産業と人材の育成につながる交流を推進し、様々なイベントに参加する町民の増加を目指します。
- ◆久米島ファンクラブの取り組みは、関係人口の創出が図られることから、継続を支援します。
- ◆「なかさと交流」及び「佐賀交流」を継続して実施します。



▲ 世界の久米島ンチュ大会（平成28年）



▲ 久米島まつり（令和元年）

目指そう指標

久米島まつり
来場者数

基準値(令和元年)

8,434人

目標値(令和7年)

14,840人

交流人口

基準値(令和元年)

107,424人

目標値(令和7年)

124,410人

後期基本計画の全体版は久米島町ホームページに掲載しています。

右のQRコードか、「久米島町総合計画」で検索し、ぜひご覧ください▶▶▶

久米島町総合計画

検索

